

短期大学設置認可申請書記載様式 案

短期大学設置認可申請書

此の度学校教育法第四條によつて〇〇短期大学
を設置したいと思ひますから御認可下さるよう
別紙書類を添えて申請いたします。

年 月 日

設置者

財団法人〇〇理事長

氏 名 印

(〇〇都道府県知事 氏名印)
〇〇〇市長

文部大臣〇〇〇〇殿

6	3
274	

書類 目次

- 一、〇〇短期大学設置要項
- 二、学則
- 三、校地（函面添付）
- 四、校舎等建物（函面添付）
- 五、図書標本機械器具等施設
- 六、学科又は専攻部門別学科目
- 七、履修方法
- 八、学科又は専攻部門別学生収容定員
- 九、教員組織
- 十、設置者に關する調
- 十一、資産
- 十二、維持經營の方法
- 十三、現在設置してゐる年度の現況
- 十四、將來の計画

十五、併設の場合の調

第一 〇〇短期大学設置要項

- 一、目的及使命
- 二、名称
- 三、位置
- 四、校地 総坪数 坪
- 五、校舎等建物 総坪数 坪
- 六、図書標本機械器具等施設概要
- 七、学科又は専攻部門の組織並びに附屬施設
- 八、学科又は専攻部門別学科目又は講座概要
- 九、履修方法概要
- 十、職員組織概要
- 十一、学科又は専攻部門別学生定員
- 十二、設置者
- 十三、維持經營の方法概要

十四、大学開設の時期
十五、併設の場合

第二 学 則

- 学則には次の如き諸事項が含まれるべきものと
する
- 一、短期大学の目的及使命に關する事項
 - 二、学科又は専攻部門の組織に關する事項
 - 三、学科目（一級教養科目及び専門科目）に對
する事項
 - 四、履修方法及び課程修了認定に關する事項
 - 五、入学、退学、休学、轉学に關する事項
 - 六、授業料、入学金、貸給費、その他学費に關す
る事項
 - 七、職員組織に關する事項
 - 八、教授会等に關する事項
 - 九、学生定員に關する事項

春山 234

- 十、専攻科又は別科に関する事項
- 十一、図書館、農場等其の他の附属施設に関する事項
- 十二、委託生、聴講生、外國學生に関する事項
- 十三、公開講座、通信教育等に関する事項
- 十四、学生、学期及び休業日に関する事項
- 十五、学生保健施設等に関する事項
- 十六、賞罰に関する事項
- 十七、其の他短期大学に於て必要と認められた事項

第三 校地（函面添付）

校舎敷地	所在地	坪数	備考
合計			

図書室	その他

備考

- 一、建物種別の欄には各棟毎に本館、一号館、図書室、学生集会所等の建物種別を記入すること（雑屋は一括何棟とするも可）
- 二、建物様式の欄には本造二階建のよりその様式を記入すること

備考

- 一、種別の備考には校舎敷地、体操場農場演習場等の種別に区分して記入すること
- 二、図面は縮尺を明示した略図によりその図面には前項種別並びに配置場所を表示すること
- 三、環境其の他を示す周囲の略図を添付すること

第四 校舎等建物（函面添付）
（第一表）

建物種別	建物様式	室数	建坪	延坪	備考
本館					
一号館					

- 三、図面は縮尺を明示した略図によりその略図は各平面図として各室には坪数と用途を示すこと

（第二表）

建物種別	室名	一室坪数	用途	收容人員	室数	延坪	備考

備考

- 一、室名の欄には各室毎に学長室、会議室、事務室、普通教室、特別教室、教授助教の研究室、実験実習室、書庫、図書室、図書室、医務室、倉庫、汽機室、配電室等の種別により記入すること
- 二、図書図書室の備考欄には採光、換気方法、暖房等を記入すること

第五 図書標本機械器具等施設

一、図書

種別	冊数		備考
	内國書	外國書	
一般教養圖書			
専門圖書			
單行書			
雜誌			

二、標本

標種	点数	備考

三、機械器具

標種	点数	備考

備考 備考の欄には大略の用途を記入すること

備考 備考の欄には大略の用途を記入すること

四、施設

電気、瓦斯、水道等の施設大略を記入すること

第六 学科又は専攻部門別学科目

学科又は専攻部門	学科目	開設年度及單位数			備考
		第一年度	第二年度	第三年度計	
一般教養科目	人文関係科目				
	社会科学関係科目				
	自然科学関係科目				
	専門科目				

合	実	講	体	1
計	技	義	育	1

備考

- 一 教員養成の目的をもつて教職課程を行う
場合には専門科目の項の次に教職課程
(教職課程に関する科目)について記入
すること
- 二 開設見込年度及び単位数の欄には該当年
度に単位数を記入すること

第七 履修方法

学 科 目	必修 単選 単	備 考
一般教養科目		
人文関係科目		
社会科学関係科目		
自然科学関係科目		
専門科目		

二、学科又は専攻部門別教員配当定員

専攻部門	学科又は 科目	配当定員					計備考
		専任	兼任	計専任	計兼任	計	
一般教養科目	人文関係科目						
	社会科学関係科目						
	自然科学関係科目						
	専門科目						
	実講						
合計							

備考

一、教員養成の目的を以てその科目の頭に○印を付すること。
 二、兼任の欄には短期大学外よりの兼任者数を記入すること。
 三、学長並びに専攻部門別教員予定

職名	専任	兼任	計専任	計兼任	計
名					
の別					
又は					
又は					
講					
座					
目					
時					
数					
及					
学					
科					
名					
称					
号					
文					
教					
年					
月					
日					
定					
年					
月					
日					
本					
給					
本					
籍					
別					
性					
氏					
生					
年					
月					
日					
名					

備考
 一、学科又は専攻部門別一般教養科目及び専門科目等の区別に従つて記入すること。
 二、職名は教授、助教授、助手、講師その他をあげること。
 三、教員個人調
 四、教員毎に左記の内容を含む履歴書、同意書及び職務論文目録を添付すること。
 五、職歴、学界並びに社界における活動

(同意書様式)
 私は○短期大学設置認可の上、その大学の○
 教授(助教授、講師)として就任すること(兼任)の○
 ます。授(助教授、講師)として就任すること(兼任)の○
 ○○○○学校長殿 氏 名 印
 備考
 この同意書は、履歴書中に記載するも可
 (署名及職務論文目録様式)

著書

書名	発行年月日	発行所

學術論文

論文名	発表雑誌等の名称	発表年月日	校	概

備考

校概の欄には、担任学科目に関する主要な論文（未発表のものを含む）についてのみ記載すること、但し、二百字以内とする。

第十一 設置者に由する調

一 国立短期大学の場合

最近三年の予算決算

二 公立短期大学の場合

(一) 議会議事録(寫)

(二) 予算決定書

(三) 最近三年の予算決算

三 私立短期大学(法人)の場合

(一) 役員氏名

(二) 財産目録及び貸借対照表

(三) 最近三年の予算決算

(四) 理事会等決議録(寫)

(五) 寄附行爲

備考

寄附行爲 変更の場合はその認可申請書を提出すること

第十一 資産

一 資産總括

(一) 資産は土地、建物、圖書、標本、機械、器具、有價證券、現金等の種別に従

い員数、價格(時價)を表示すること

(二) 負債は借入金及び金額を表示すること

圖書、標本、機械、器具等内訳

種別	員数	價格(時價)	備考
計			

備考

一 種別は圖書、標本、機械、器具、此の種別により記入すること

二 本表記載のものは別に目録を添付することこの目録は個々の品名をあげたものでよろしい

第十二 維持経営の方法

一 維持経営の方法

(一) 維持の方法又は計畫を記入すること

(二) 収益を得べき機因につき記入すること

第十四 将来の計畫

一 学科又は専攻科目の増設等に関すること

二 学科目、教員等に関すること

三 校地、校舎等に関すること

四 圖書、標本、機械、器具等に関すること

第十五 併設の場合の調

大学高等専修学校等に併設される場合は、その併設する学校等について次の事項を大学設置認可申請書に記載すること

併設する大学以外の高等専修学校等については、大学設置認可申請書(様式)に併する適當の係式によるもの

一 〇〇大学設置要項

二 校地(図面添付)

三 校舎等建物(図面添付)

四 圖書、標本、機械、器具等施設

五 学部長及び学科別学生収容定員

六 教員組織

七 維持経営の方法

八 将来の計畫

才一号から才八号までの事項については、現況を記載し、大学設置認可の際に相異なる部分のみを才九号に併記すること

確記記載すること

収支予算書

別紙の形式による但しこの形式によるものではない場合は、これに準ずる適當の形式による

尚國文、公立の学校にありては現行の形式による

(一) 初年度より完成年度迄の各年度分を掲げること

(二) 収支は各項目に区分し、單價、員数、總額を明示すること

(三) 經常費と臨時費を区分して表示すること

第十三 現在設置している学校の現況

同一設置者の設置している学校の現況について次の事項を記載すべきものとする

但し才一号から才八号までは高等専修学校以上を記載し、尚設置者が國又は地方公共団体の場合は、同一構内の学校のみにて記載すべきものとする

一 学校名

二 学校の沿革

三 学科別

四 教員(氏名、擔當学科、略歴)

五 学生生徒(定員、現在学生生徒数、累年卒業数)

六 短期大学取捨方針

校地、校舎、圖書、標本、機械、器具、教員、学生生徒、事務等才九号に併記すること

收支予算書記載様式（決算の記載様式も之に依る）

昭和 年度收支予算

歳入

經常部金

臨時部金

合計金

歳出

經常部金

臨時部金

合計金

歳入歳出差引

残金「なし」又は「基本財産に編入」等

昭和 年度收支予算

歳入 經常部

科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
經常部計				

臨時部

科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
臨時部計				
歳入合計				

歳出 經常部

科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
經常部計				

臨時部

科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
臨時部計				
歳出合計				

収入 經常部

科目	目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
第一基本財産収入	一 供託金利息				
	二 何れも及基大金				
	三 其の他の基本				
	三 其の他の基本				
第二何れも及基大	一 何れも及基大				
	二 何れも及基大				
第三何れも及基大	一 授業料				
	二 入学金				
四 証明手数料	三 入学金				
	四 証明手数料				

五雜收入				
第四寄宿舍收入				
一舍賃				
二舍賃				
三雜收入				
第五其他の收入				
第六雜收入				
第七前年度繰越金				
經常部計				

臨時部		科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
		第一補助金				
		第二寄附金				

兼任					
役員					
事務員					
其他					
二諸給					
旅費					
手当					
諸備給					
二備品費					

第三繰越金			
第四借入金			
臨時部計			
收入合計			

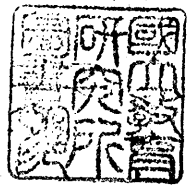
支出經常部		科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘要
		第一何半校				
		一給料				
		学長				
		教員				
		専任教授				
		専任助教				
		専任助手				
		専任講師				

器具機械費					
標本模型費					
什器雜品費					
圖書費					
四消耗品費					
消耗品費					
印刷費					
通信運搬費					
五研究費					
六実験実習費					
藥品費					
材料及雜品費					
七生徒諸費					
奨学費					

體育費	八修繕費	九保險料	十借地料	十一雜費	十二寄宿舍費	一舍監給	二諸備給	三備品費	四消耗品費	五食糧品費	六修繕費	七保險料	八雜費

臨時部

料目	第一何積立金	第二負債償還費	一元金	二利子	第三營繕費	一何屋舎建築費	二何屋舎購入費	三何屋舎地購入費	四何屋舎地購入費	五何屋舎地購入費	六何屋舎地購入費	七何屋舎地購入費	八何屋舎地購入費	臨時部計	支出合計
予算額															
前年度予算額															
増減															
摘要															



第三財團諸費	一役員報酬	二会費	三事務員給	四旅費	五手当	六備品費	七消耗品費	八通信運搬費	九雜費	第四予備費	經常部計

備考

- 一 科目欄は適宜款項に分つこと
- 二 二段以上の学段を經營する法人にあつては各学段別の科目を調製すること
- 三 各科目に共通する収入支出あるときは分別し得る限り之を分別し、分別し難きものは之を主たる科目又は財團諸費其の他適宜の科目に計上すること
- 四 増減欄の減は△印を附すること
- 五 適要欄には予算額計算の根拠たる数量、單價、金額等を明記するの外前年度予算額と大差ある事項に付其の事由を記載すること
- 六 收支經常部中第五其の他の收支の項には病院収入、出版収入等科目を明示して掲げること